

## 令和2年度 新任教員研修会開催

日時	令和2年5月27日(水) 13:30 ~ 14:30
開催形態	Microsoft Teams
参加者	教職員27名
テーマ	オンライン授業について

本学では、新任教員が本学の教育や学生の特徴を理解し、他の教員との対話から気づきを得て今後の授業・教育活動に活かすことを目的として、毎年春学期に2回、新任教員全員を対象とした研修会を実施しています。

今年度は新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、回数を1回とし、「本学の教育の特色、教育の質保証に向けた取組の紹介」、「ラーニングコモンズ、グローバルコモンズ、スチューデントコモンズの紹介」をmoodle に資料を掲載して事前に見ていただき、当日は「オンライン授業について」をテーマとした意見交換・情報交換を行いました。突如オンライン授業となったことで、不安や悩みを抱えている教職員が多く、授業運営や技法、学生の様子等、活発な意見交換がなされました。

13:30~	開会挨拶 大西 敬郎 副学長
	事務連絡 岡 和寛 (教育支援研究開発センター事務室職員)
13:45~	グループワーク テーマ: オンライン授業について
14:25~	全体共有
14:35~	総括・閉会挨拶 在岡 敬子 教授 (教育支援研究開発センター長)
14:40	終了予定



### 新任教員の声

- ・他の先生方のお話を聞いて、戸惑っているのは自分だけではないのだな、と改めて気がつけた。
- ・総じて京都産業大学の学生は講義受講に対して熱心であることが、他の先生のご発言からも見て取れた。私の授業でもそのように感じていたので、より学習しやすいように授業改善を行っていこうと思った。
- ・自分と同じような悩み、問題を先生方がお持ちであることがわかり、多少気が楽になりました。技術的なことも教えていただく機会にもなりました。

### 参加した先輩教員の声

- ・参加された先生方がそれぞれに工夫されていることが参考になった。自分の経験を踏まえてアドバイスできたことも良かった。もっと広い範囲でこのような情報共有ができれば良いと思う。
- ・オンライン授業については、新任教員のみならず、広く意見交換・情報交換の場が必要だと思った。もっと(できる人の)意見を聞きたい。
- ・これまでの対面形式の複数グループの雰囲気も良かったのですが、今回はオンラインでそれぞれの部屋で行ったので集中できる環境があり、快適でした。

## 令和2年度 第1回 教員しゃべり場開催

令和2年7月1日(水)、教育支援研究開発センター主催「第1回教員しゃべり場」を開催しました。春学期の授業が全てオンライン授業となったことで、教員も試行錯誤を繰り返しながら授業を行っています。学部を越えた教員同士の意見交換、情報交換の場として開催し、当日はセンター長をはじめとした教職員7名が参加しました。

**内容** しゃべり場では、オンライン授業となったことで、学生からの質問が増えた、私語がなくなり注意をしなくても良い等、対面授業ではなかった効果を実感している意見があがりました。一方で、カメラオフになっている学生の表情や反応が見えづらいため、理解しているのかが分からない、学生の ICT 環境が異なるため、配慮して授業運営をする必要がある、学内でオンライン授業が苦手な教員や外部講師を招いて授業をするための録画設備はあるのか等、オンライン授業ならではの課題の共有がされました。



### 参加した教職員の声

- ・通常は学部を越えて他の先生方とお話する機会はありません。そのことから定期的なこのような場を設定して頂けることは有益であると考えます。
- ・これくらいの少人数で話すと良いと思った。職員の方も参加されていたので、要望なども伝える貴重な機会となって良かった。また教職員の混合で開催すると良いと思う。
- ・情報交換ができますので、今後の授業の改善、学生の満足度の改善の役に立つ場です。今後も時々開催されれば有意義だと思います。

CERADES News Vol.17 2020年9月発行

編集 / 発行 京都産業大学教育支援研究開発センター

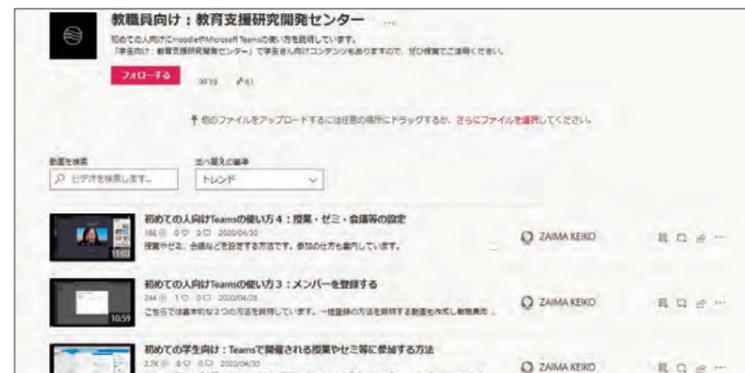
〒603-8555 京都市北区上賀茂本山 Tel : (075)705-1729

e-mail : kyoiku-shien-center@star.kyoto-su.ac.jp URL : http://www.kyoto-su.ac.jp/about/cerades/index.html

## 春学期のオンライン学習支援について

世界的に流行している新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、本学も授業や各種行事について対応を余儀なくされました。春学期授業は全てオンライン授業となり、授業開始日も約1ヶ月遅れとなり、教員・職員はオンライン授業の準備や対応に追われ、学生にとっても初めて全ての授業が一斉にオンラインで開始となり、学生・教員の負担が増えることは明白でした。

教育支援研究開発センターでは、このような状況に対応するべく、オンラインによる学習支援や教員サポートに取り組んできました。例えば、教員や学生向けに moodle や Microsoft Teams および Microsoft Forms の使い方を動画で撮影し公開、オンラインでの学習支援やワークショップを開催しました。今回は、教育支援研究開発センターが行ったオンラインによる学習支援をメインテーマとし、どのような学習支援を行ってきたのかを次のページで紹介させていただきます。



Microsoft TeamsやForms等の使い方を動画に公開



見たい動画をクリックし、説明を聞くことが可能

### Contents

p2 <オンライン学習支援特集>  
ラーニングコモンズ

p3 <オンライン学習支援特集>  
グローバルコモンズ

p4 <FD/SD活動の推進>  
令和2年度 新任教員研修会開催  
令和2年度 第1回 教員しゃべり場開催

CERADES Newsは、京都産業大学の特色ある教育・学習の実践事例を紹介することを目的とし、セラデススタッフが企画・取材・デザイン制作している刊行物です。  
CERADES(セラデス)は、教育支援研究開発センターの英語名称 Center for Research and Development for Educational Support の略称です。

## オンライン学習支援特集 —ラーニングコモンズ—

ラーニングコモンズでは、学生の学習支援を目的とし、授業と連携したワークショップやレポートの書き方などのミニ講座を実施しています。春学期にオンラインによる3つの取り組みを実施しました。

### (1) 課題提出型学習支援

「授業スタート前にできることをやってみよう」

春学期授業の開始日が約1ヶ月間延期になったため、不安を抱えている新生入生に大学での授業への関心や期待を持続できるように、授業で役立つ知識をPOSTにて紹介しました。

- **目的** 知っておいたほうが良い「大学での学び」についての情報提供を行う。
- **方法** POST掲示板に大学での学びに関するコラムのような軽い読み物と課題を掲載しました。双方向性のあるものにするため、提示した課題を期限内に提出すれば、ラーニングコモンズの担当者からコメントをフィードバックしました。
- **実施期間** 4月から5月 ● **提出者数** 延べ385名

● **結果** POSTへの掲示は4回行い、課題は2回ありました。課題を提出した学生は、合計で385名でした(両方提出した学生は101名)。

POST 掲示日	内容	課題の有無 / 提出者数
1 4/10	ラーニングコモンズの紹介と課題の告知	
2 4/10	大学と高校の「学び」は違う？	課題あり / 206名
3 4/16	メールの書き方	
4 4/17	文章を3回読んでみる「パンデミックを生きる指針」	課題あり / 179名

#### 学生の声

- ・不安な毎日ですが課題を通じて以前抱えていた大学生活への期待を少し取り戻せたような気がします。
- ・自粛中の学習意欲を再燃させるきっかけとなりました。

#### 担当者の声

- ・想定していたよりも多くの学生からの課題提出があり、学生の学ぶ意欲を感じることができました。
- ・提出された課題は自分の考えや意見を問うものであったため、学生のみなさんの関心事や考え方を知る良い機会となりました。

### (2) 学習相談 (電話・メール・Microsoft Teams)

新学期は前年度の自分の学習を振り返り、これから学習へ向き合う時期でもあるので、学習に関する課題や不安を解決するための学習相談を行いました。

- **目的** 個別の学習に関する悩みや課題についてのアドバイスを行う。
- **方法** 4月初旬にPOSTに「電話学習相談：困ったらお電話ください」と題した掲示を行いました。ICT環境が整い始めた5月以降は、電話に加えて、メールやMicrosoft Teamsを使った学習相談も行いました。
- **実施期間** 4月から8月
- **結果** 相談件数：29件(電話23件、メール3件、Microsoft Teams 3件)  
学年：1年次生(19人)、2年次生(6人)、3年次生(3人)、4年次生(1人)  
内容：最も多く寄せられた相談は、「レポートの書き方」についてでした。単位の取り方、英語の勉強方法、暗記の方法などの相談も寄せられました。その他には履修登録やパソコン購入についての相談、POSTやmoodleの操作方法に関する相談があり、内容に応じて学部事務室に引き継ぎました。「レポートの書き方」については、特にオンライン授業に伴うレポート課題への不安に関する相談が多く寄せられました。

#### 担当者の声

- ・多くの学生さんとオンライン上で、大学での学びに関する不安や期待を直接聞くことができ、今後の取り組みの参考になりました。
- ・想定していた学習スキルに関する相談は少なかったです。特に4月はオンライン授業に伴う不安や疑問が多いように感じました。

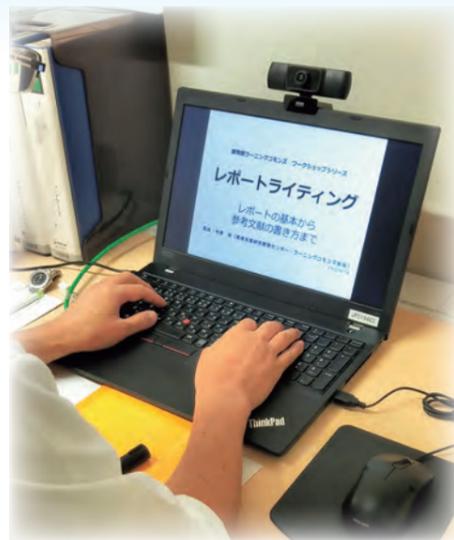
### (3) Microsoft Teamsによるミニ講座の実施

Microsoft Teamsを使ったミニ講座(「レポートの書き方」「資料の探し方」「自分の意見の作り方」)を行いました。

- **目的** レポートの書き方に関する基本的な知識やポイントを理解し、自分が作成するレポートに活用できるようになる。
- **方法** 事前予約制とし、メールにて希望の日時と希望の講座を申し込む。個人でもグループでも受講可能としました。
- **内容** 申し込みの際に「一番困っていることや聞きたいこと」を尋ね、それらの情報をもとに、レポートの構成、レポートを書く時の心構え、引用や参考文献の書き方などを紹介しました。実施時間は約40分程度としました。
- **実施期間** 6月から8月
- **結果** 申込人数：延べ38人 レポートの書き方(35件) 資料の探し方(2件) 自分の意見の作り方(1件)  
学年：1年次生(30人)、2年次生(4人)、3年次生(4人)

#### 学生の声

- ・レポートの形式がわかり、根拠の大切さやどう話をふくらますかを丁寧に教えてくださって、とてもわかりやすかったです。
- ・レポートの書き方で不安な部分を、資料を用いて説明していただき、わかりやすかったです。
- ・その場で疑問に感じた点を質問できたところがよかったです。



## オンライン学習支援特集 —グローバルコモンズ—

グローバルコモンズでは、春学期、新型コロナウイルス感染症の影響により、学内へ入構できない学生の学修をサポートするため、ワークショップや個別英語学習相談をオンラインで実施しました。

### (1) ワークショップ

#### ① 英会話ワークショップ Starting English Conversation

「つぶやき英語トレーニング」 Basic English Training for Fluency



- **実施期間** 6月17日～7月31日 週2回 6週間 計12回(各回30分)
- **目標と内容** 「道案内」や「レストランでの注文」など、日常の英会話で使う基本表現を、場面をイメージしながら「置き換え+反復」練習していきます。参加者は、オンライン上で一斉につぶやきます。これまで蓄積してきた英語表現を繰り返し練習することで、必要な時にさっと口から出るように表現の定着を図ります。
- **参加人数** 延べ参加人数 84名 実参加人数 28名

#### 担当者の声

オンラインによるワークショップは初の試みでしたが、初回から連続で参加する学生も多く大変好評でした。みんなで一緒につぶやき、互いの声を聴くことで、リモートでつながっている一体感のようなものが生まれたように思います。また、熱心に発話する参加者の様子から、英会話力を向上させたいという意欲が伝わってきました。ワークショップ前後の学生とのやり取りで、「復習用の表現集で練習します」という声も多く聞かれ、いつでもどこでも、独りで手軽に実践できる学習法の一つを紹介できたことと手応えを感じました。

#### 学生の声

- ・テーマが日常生活に関する身近なものだったのが良かった。雰囲気も参加しやすい雰囲気で楽しく学べた。
- ・今回もつぶやき英語楽しかった。
- ・短い時間の中でたくさん例文が練習できてよかった。

### (2) 英語リスニング Enjoy English Listening!

「みて&聴いて、楽しみながら学ぶ英語」 Enjoy watching, listening to, and trying it!

- **実施期間** 7月13日から3週間(7月31日まで)  
英語リスニングに取り組むコツや学習方法を紹介した動画と資料を事前に公開、その後、各週の月曜日に課題の動画と課題を、金曜日に解答解説資料を公開しました。
- **目標と内容**
  1. 目標と目的  
様々な地域で話されている英語に親しみ、話し方や語彙の違いに気づきつつ理解し、説明通りにやってみたり、自らコミュニケーションをとるきっかけを作れるようにすること、加えて、理解した内容を日本語や英語でまとめられるようにすることとしました。
  2. 利用する映像(動画)と各課題の構成  
楽しみながら学べるトピックとして、料理の作り方を選びました。できる限り自然な話し方で、英語字幕が選択でき、再生速度を変更したり何回も再生できる動画にしました。初めての試みなので、普段よく触れる機会のある英語話者を中心とし(米、英、インド出身者)、英語レベルは問わず、課題(ワークシート)を英語のみ、英語+日本語少なめ、英語+日本語多め、の3種類から選べるようにしました。課題などの情報はmoodleを通して配布、担当者が参加者の利用状況を随時確認できるようにしました。ワークシートは、準備段階で頻出語彙の意味の確認、その後、内容把握や特徴的表現を動画を見て聴いて学ぶ形とし、振り返り段階で動画内容をまとめ、感想を自由に記述(日英いずれも可)できるようにしました。ワークシートは提出され次第担当者が解答内容を確認、コメントをつけて個別に返しました。
  3. トピック  
一週目 Asian Style Stir-Fry Noodle (アジア風焼きそば)  
二週目 No-Sweat Summer Dishes (汗をかかなくていい夏の料理)  
三週目 How to Cook Indian Style Curry (インド風カレーの作り方)

■ **参加人数** 28名

#### 学生の声

- ・高校の時のようにたくさんの単語を聞き取れなかったが、これをきっかけに英語の学習に力を入れたいと思う(1年次生)
- ・野菜の英語名が地域によって異なるのを初めて知った。他にも一つの日本語に対して複数の英語が当てはまるのが分かって勉強になった(1年次生)
- ・ラフな感じで出演している人が楽しそうに料理を作っていて、見ていても楽しかった(1年次生)

#### 担当者の声

対面のワークショップよりも多くの学生から申し込みがあり、8月上旬の時点(課題提出は8月末日まで可能)で参加者中、約1/3の学生から課題提出がありました。提出された内容から、料理方法の理解やリスニングへの取り組みの様子だけでなく、参加学生の地域や社会への関心の様子が分かったことはとても良かったと思います。



### (2) 個別英語学習支援

英語でのライティング・プレゼンテーション、英語の勉強方法等に関する個別学習支援を、通常は対面で行っていますが、春学期は電話やMicrosoft Teamsで実施しました。

■ **相談人数** 4名

■ **相談内容** 英語検定試験に関する相談(2件) リスニングに関する相談(1件) 授業の課題についての相談(1件)